

## 全校朝会 校長講話

平成30年6月18日（月）

先週の13日は、中体連県中地区大会が行われました。私は先週出張で応援には行けませんでした。卓球部、バレーボール部の皆さんの健闘ぶりは、多くの人たちから聞いています。卓球部の皆さんは、残念ながら県大会に駒を進めることは叶いませんでしたが、団体戦と個人戦でそれぞれ1勝をあげたことは、「やればできる」という自信につながったことと思います。この経験を新チームにつながるとともに、選手の皆さん一人一人の今後の人生にぜひ生かしてください。バレーボール部の皆さん、県中大会3位入賞、県大会出場、おめでとうございます。2年連続県大会出場の重圧に負けず、よく頑張りました。新チームになってからの経験値の高さが、ピンチになっても動じない気持ちの強さにつながり、県大会出場に結び付いたのだと思います。県大会では、県中大会で勝ちきれなかった悔しさを糧にして、コートの中で存分に暴れてきてください。県下に都路中学校の名を知らしめてきてください。

さて、明日は定期テストIがあります。どのようなことができればいいのかが具体的に示されているテスト範囲表を活用して、テストにむけた家庭学習に取り組んでいることと思います。テストや高校入試にむけて、自分で計画を立てて勉強し、学習の仕方や時間の使い方を振り返り、改善しながら取り組むことは、実社会に出て仕事をする上でも大切なことです。つまり、学校での学びは、単にテストや入試のためにあるのではなく、社会を支えるためにあるということです。例えば、海外からの商品の発注メールは全て英語です。会社の会議では論理的に分かりやすく話したり、プレゼンしたりすることが不可欠です。私たちが着ている衣服の多くは、物質同士の化学変化によって生み出されています。私たちの暮らしは、「知のバトン」が何百年にもわたって受け渡されてきたお陰で成り立っています。学校で学んでいることは、人類の「知のバトン」を受け取るためにも、それをさらに高めて次の世代に渡す準備をするためにも欠かせないものです。6月から9月の間は、皆さんが職場体験や福祉体験、都路志塾などで、実社会の様々な分野で活躍する大人から話を聴く機会に恵まれます。そのような貴重な機会を捉えて、実社会においても学校での学びが常に活用され、それが私たちの暮らしを支えていることをぜひ実感してきてください。

これから週1回、県立高校入試問題（国語）を多目的スペースに準備しておきます。全校生が対象なので、ぜひチャレンジしてみてください。解答後は、解答用紙を校長室前の提出用ケースに入れてください。添削して返却します。また、出題した問題に関する学習会を昼休みに持ちます。希望する生徒はぜひ参加してください。